

F u - Z i n



第15回

NPO博多の風

フォーラム

報告

第12号

- 『第5回祭童子集まれ!楽文コンテスト』表彰式
- 九州IBMユーザー研究会新春例会に出席

平成18年4月発行

NPO博多の風 フォーラム開催!

去る平成17年10月23日(日)に明治安田生命ホールにて、「第15回NPO博多の風フォーラム」が開催されました。

第二部では、
NPO博多の風理事長・
大庭宗二による講演
「なんとかするさ」が
行われました。

今日のテーマは「なんとかするさ」ですが、「なんとかするさ」の前には「なんとかなるさ」というのがあります。昔、博多のばあちゃんたちは、辛いときや苦しいときに「なんとかなるさ」と言いながら、最後には自らがなんとかしてきたんですね。「なんとかなるさ」と言いながら「なんとかせないかん」「なんとかするさ」という気持ちがあったことそのことやったと思うんですね。

よくいろんなところで講演をさせていただく中で、「どういう生き方をしたいか」という質問をよくされます。その時に必ず言うのが、今度生まれ来てても今まで生きてきたような生き方をしたいと思えるような生き方です。



ね。色々悩んで、過去がどうのこうのとかいう人がいますが、過去は過去であって、今からのこからの時間を一生懸命生きて、今度生まれ変わった時も同じような生き方をしたいと思えばいいじゃないですか、と言うと皆さん納得されるんですけど。
やり直しというのは幾つになってもきくと思うんです。今までのいろんな過去の失敗があるから賢くなっているわけで、要するに「な



んとかするさ」の基本は自分自身の気の持ちようなんです。それと、大事な事は無いものねだりをしないことです。人間は物事が思うようにならなかつたりすると、自分のまわりにいっぱいあるいいものが見えなくなつて、これをやっつけてしまうんです。何かを求めてレベルアップするということがいいことだと思わなくて、まずは自分の身の丈にあったことをすることが大事です。だから、自分の足りないものとか、苦手

なことを一生懸命やるよりも、自分の得意な分野、自分ができることを一生懸命やること、これが「なんとかするさ」の一番の早道だと思います。

あと、なんとかするのはあくまでも自分なんです。自分ひとりでは成り立ちません。例えば、NPO博多の風の理事長と云いながらも、他に誰もいなかったら理事長とかやれないわけで、山笠にしてもそうで、どんなに昇くのが人よりすごいといっても、

誰もおらんかったら山笠は動きません。なんとかするためには、やはり人の協力が必要なんです。なので、自分のまわりにいる人のおかげだということを忘れずに、直向きに取り組んでいくべきなんです。それが人を動かしていく源になります。よく自分の評価を自分でする人がいますが、評価というのは人がすることであつて、自分でも仕方がないものです。自分がどれだけやれるかということが重要であつて、評価



は後からついてくるもんです。
この「博多の風」の評価にしても最初はまちまちだったと思います。ただ一緒にやってきた仲間が愚痴も言わず支えてくれて、ここまで地道にやってきてくれたおかげで、今では、博多祇園山笠振興会や、NTTドコモ九州、日本アイビーエムといった一流企業から

もご支援いただいております。これこそ、「なんとかするさ」じゃないかなと思います。
これからも、地域に密着して地道に息を長く活動していきたいと思っておりますし、皆さんの力を借りながら一歩ずつ成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

表彰式後、毎日新聞西部本社編集局長・加藤信夫氏より総評をいただきました。
今回の優秀作品の受賞者は、実に6割が女の子です。ということとは、「男の子はいいな」という女の子の山笠に対する憧れが、いい作品を作らせているのではないかと思います。文章というのは自分の思いや考えを人に伝えるための手段なんです。優しい言葉でわかりやすく書く、これが一番大切です。二番目は、自分の思いや感想を自分の言葉で書くことが大切です。そして三番目に大切なのは、自分が経験したことをそのまま具体的に書くことです。この3つのことを心がけて文章を書くと、もっともったい作品が書けると思います。今回の



第一部では、「第5回祭童子集まれ！楽文コンテスト」の優秀作品の表彰式を行いました。今回は1300を越える作品の応募があり、中には映像による作品も寄せられました。表彰式前にその映像作品を鑑賞したのですが、レベルの高さに会場中から驚嘆の声が上がりました。



優秀作品を読み直しまして改めて、山笠を見たい、山笠に参加したいという気持ちになりました。受賞者の皆様、本当に感謝をありがとうございます。
(吉田秀典)

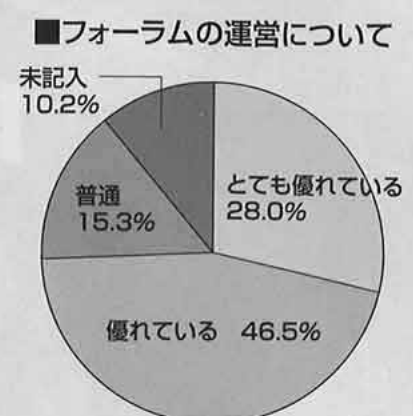
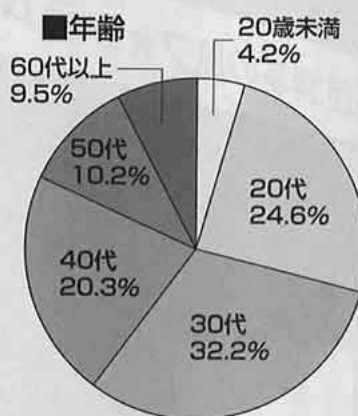
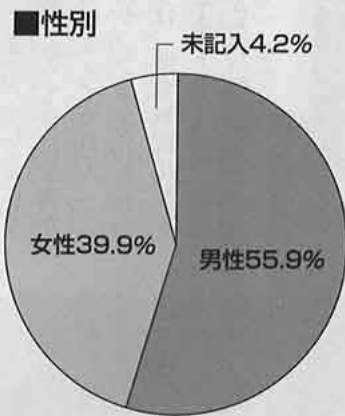
第16回 NPO博多の風フォーラム 開催のご案内

■開催日時 平成18年4月16日(日) 開場12:30/開演13:00 ■開催場所 明治安田生命ホール(明治安田生命ビル8F)

開催内容

- 第一部 「NPO博多の風」事務局だより
- 第二部 講演 ●講師:平田大一氏(沖縄在住・演出家) ●演題:南島詩人一人舞台「南の島を詩う」
◎著書/「平田大一詩集 南島詩人」「歩く詩人」

第15回 NPO博多の風フォーラム アンケートより (回答118名)



■楽文コンテストの感想

- ◎自分の思ったことを上手に表現していて素晴らしいと思いました。素直な気持ちをいつまでも持ち続けてほしいと思います。
- ◎初めて楽文コンテストを知りましたが、大変良い企画だと思いました。生き生きとした子供の心に楽しい気持ちにさせられました。
- ◎子供の成長に大変良い事をしてあると思います。
- ◎子供だからこそ書ける純粋な気持ちが伝わってきました。
- ◎子供なりに、山笠を通じて自分の人生観をもっているのが良いですね。とても良い企画だと思っています。山笠と子供と親と地域の結びつきの感想と体感を文章で表現させることはとても大事なことだと思います。
- ◎審査員一人一人のコメントが丁寧で温かい
- ◎楽文も良かったですが、毎日新聞の加藤さんの温かい総評がさらに良かったです。どんな事でも子供たちは賞をもらうことで自信を持つことができます。その事が今後の生活や学校の中で大きく意味すると思います。思わぬ才能を発見できる事、とても重要なチャンスだと思います。続けられることを希望します。
- ◎いろんな祭りに関するテーマがコンテストに応募されていました。話題の広がりや博多の風の器の広がりにつながっていると思います。祭りに関するいろんな話題が風人に掲載されるのは良いですね。携わった方々のご苦労に感謝します。
- ◎今回は祭りについての楽文で良かった。大人はどうあるべきかを子供は良く見ている

■今後のフォーラムにおいて希望される講演テーマ

- ◎高齢者・老人向けの講演など
- ◎博多文化
- ◎地元運動部監督 コーチによる講演
- ◎プロ野球選手の講演
- ◎プロゴルファーのメンタル面
- ◎色々な業種の人の講演

■本日の感想

- ◎身の回りのことを大切にという言葉が心にのこりました
- ◎最後の2人の会話が良かった。二人の存在は必要ですよ。がんばってください
テレビ・ラジオの裏話が面白かった
- ◎明日からの活力になりました。
勉強になりました。何事も何とかしないとイケないですね。
- ◎理事長の講演は人生を生きていく上で人によいヒントを与えてくれた。「泣いた赤鬼」のたとえ話は考えさせられました。今私は癌と闘っています。なんとかかなと思って臨んでいましたが、「なんとかする」気持ちがないと「なんとかならない」のだなと改めて思った次第です。



九州IBMユーザー研究会 新春例会に出席

NPO博多の風の特別会員でもある、日本IBMユーザー研究会主催の「九州IBMユーザー研究会平成18年新春例会」が1月20日(金)ホテル日航福岡にて行われ、NPO博多の風の理事・幹事約15名で参加してきました。講演会では大分県佐伯市の公務員である矢野大和(やのたわ)氏による「笑って元気!愚痴を言ってもいいかな」を拝聴しました。矢野氏は公務員でありながら市役所常勤ではなく、外部で佐伯市をPRすることが仕事である「観光大使」であり、年間400回も講演をこなす世にも珍しい地方公務員です。内容は日常生活によくある場面を題材に、「必要とされる喜び」「素直に感謝の気持ちを表す」「物事にはしていい時と悪い時がある」など、日頃私達が判っているようで判つてなく実践していない物事を流暢な?大分弁で笑いを交えながらわかりやすく論じてくれるものでした。また、年齢や立場が上げれば上がるほど忘れがちになる「全ての物事は肯定から入る」というコミュニケーションに必要不可欠なキーワードを再認識させられるものでした。矢野氏の「口演」をお聞きしたことで笑って元気になり、幸せな気分と明日への活力につながる多くのメッセージをいただくことができました。

(赤星博康)

NPO博多の風総会開催

3月18日(土) NPO博多の風の
平成18年度総会が開催されました。

各担当理事や監事も参加し、福田事務局長の司会で1号議案：17年度の事業報告、決算、監査報告。2号議案：18年度の事業計画、予算審議。3号議案：出版事業についての3つの議案について審議を行い、全会一致で承認されました。総会の結びとして

理事長から、「組織というものは若い人間と年寄りのバランスが大切だ。新しい理事や幹事も増えてきているのは良いことだと思う。今後いろいろな事業を通じて、博多の街の活性化につなげていきたいと思います。」という言葉で締められました。(中山肇)



NPO 博多の風
平成18年度 運営部会

◎理事長 大庭 宗

◎副理事長 信二(財務、山笠コース探訪担当)

大庭 信雄(イベント統括担当)

太田 勇之助(山笠資料館創設計画事業、山笠山台製作担当)

◎理事

福田 一男(事務局長)

松本 昭久(企画 出版事業担当)

野田 輝幸(会計 クリーン作戦担当)

因幡 敏幸(楽文コンテスト担当)

緒方 照基(フォーラム担当)

野中 雅治(総務 広報担当)

◎監事

栗田口 欣社

森 厚

太田 知

◎顧問

倉田 真

◎世話人

松本 龍司(フォーラム担当)

後郷 光信(山笠資料館創設計画事業担当)

平井 彰(楽文コンテスト担当)

山口 覚弘(広報担当)

村岡 昌哉(クリーン作戦担当)

待水 光之(山笠山台製作事業担当)

染矢 純(山笠コース探訪担当)

中島 一総(出版事業担当)

新世話人の一言



中島 一総さん
(出版事業担当)

私は3歳のころから山笠に参加させていただいており、現在は土居流下土居町の筆頭赤手拭として頑張らせていただいております。もともとは福岡市南区に住んでおりましたが、去年、念願の“博多に住む”を実現し、日々博多の町のすばらしさを肌で感じております。今回、出版事業の世話人をさせていただくにあたり、責務を果たすこともさることながら、組織に少しでも“若さ”を注力できるよう尽力していきたいと思っております。また、NPO博多の風を通じて、博多の町に深く関わっていければと思っております。他の世話人の方々は、比較的顔が怖いので、“さわやか担当”という部分も加味して貢献できるよう頑張りますので、よろしく願いたします。



平井 彰さん
(楽文コンテスト担当)

私は土居流の片土居町から山笠に参加させていただいており、町内では櫛引(くしびき)会という町内に住んでいない人の集まりなどのお世話もさせていただいております。昨年の山笠コース探訪の頃からNPO博多の風の方とも接点をもつようになりまして幹事として参加するようになりました。今回は楽文コンテストの世話人のお話を受けまして、前任者の仕事を引き継ぎ、博多の為また、NPO博多の風の為に、皆様の指導をいただきながら私なりに尽力していきたいと思っております。過去5回を数え、徐々に各方面に浸透してきていますし、今年度の楽文コンテストの準備もいろんな所に働きかけをしていながら、準備を進めていきますので、どうぞよろしく願いたします。

来風人

会員紹介

森 厚さん

NPO博多の風 監事

■職業:自営業

■土居流 川口町



私が育った川口町は今の冷泉公園の北側から西側に面した通りにあり、公園となる前はお寺や鉄工所があり、町内には店舗や住居が立ち並び川端商店街も活況の時代でした。ほとんどの家は住居兼店舗という形態で隣近所助け合って生活していたように記憶してい

ます。そのような中、山笠の時期となると、そわそわして落ち着かなくなり、胸がワクワクしたものでした。水をかけあったり、露店を見て回ったり、直会のあとで貰うお菓子も楽しみの一つでした。その当時は冷泉小学校、博多第二中学校も今とは考えられない位生徒数も多

く、学友も多くいましたが、今は数える位しか近くに学友がいないことは寂しい限りです。

ちょうど昭和41年に実施された町界町名整理事業の頃くらいでしょうか、時代の流れといえますが、商売の中心が博多から天神へ移っていったように思います。人の流れが変わり始めたことにより、この地で商売を続けることが難しくなったり、いろんな事情で郊外に引越す人たちが多くなっていきました。町内に住む人の数が減っていくことを肌で感じていました。どうしても住む人が減ると、町としての活気がなくなっていくますし、当時は、度この地を離れてしまつたら山笠にも出られないような雰囲気もあつたので、住む人が減るのにあわせて、徐々に山笠に参加する人数も減っていったように思います。一番少なかった頃には父ともう一人か二人で手打ちに行つていた事もあつたようです。そういった少ない人数でも、参加し続けてくれた人達がいて町を支えてくれたから今も町内として残っているわけで、大変ありがたく思っています。

大学を卒業後、大阪の方に就職して28歳の頃に福岡に戻ってきました。戻ってきたはずが山笠には参加出来ませんでした。人数が少ないながらもずっと参加している人たちがいて、そんな人達にもっと楽しんでもらいたいという想いから、自然と再び参加するようになりまし。その後少しずつで

すが人数も増えていって、直会らしい直会ができるようになったのが嬉しかったですね。子供の頃の直会という町内のおかみさん達が炊き出しをして、にぎやかにやっています。ただ、町内が衰退してからという直会も満足にできず、近所の食堂とかで簡単に済ませるようなこともあつたそうです。それでも自宅の車庫を開放して直会らしきものを始め、人数が増えて車庫に入らなくなつたら、表にもテールを出してやっていました。それから、隣の電話局の空いている場所を貸してほしいとお願ひに行つて、テントを出して詰所を作ることができるようになりました。今では多少人数が増えてきてその場所も狭く感じる事もあります。

昭和62年にやつと役員を出せるようになり、私を含めて赤手拭3人で流に参加させてもらいました。が、判らない事はばかりで、最初は戸惑う事が多かったのですが、たくさん人の叱咤激励や支援がありやつと今日までやってこれました。再び参加し始めて20年ほど経ちましたが、「人ととなり」であつたり「人の動かし方」「気持ちの汲み方」「組織を運営するにはどうしたら良いのか」などいろいろな事を勉強させてもらいました。

山笠の世界だけではなく、仕事の世界でも役にたっている事がたくさんあります。私がいままでやってこれたのも、周りの人達が助けてくれて、良いところも悪いところも

言ってくれたおかげだと思つてます。これからは、自分がしてもらつてよかつたなと思うことをまわりの人達にしてあげたいと思います。しかし「組織の人に喜びや楽しさを与えられているのか」「次の人たちへ繋ぐにはどうしたらよいか」等など私自身もまだまだ勉強中です。新しく参加する人もいます。そういう人達にも山笠を通じて、「生きる事、人生」について感じてもらえればと思います。挨拶の仕方から、話の聞き方、先輩を敬う気持ちや後輩を思いやる気持ちなど、当たり前前の礼儀や人としてどうあるべきかなどを学ぶことができると思います。そういう意味では山笠とは「人生勉強の場」ともいえると思います。子供から老人までがいて、子供は子供として学ぶことがあり、若者は若者、大人は大人としてそれぞれ学ぶことがあります。先輩は後輩を育てる為はどうすればいいのかと日々考えてやっています。「いろんな事をやらせてみて、フォローをして、また教えて。」の繰り返しです。時々怒ることもありますが相手の事を思うから怒るのであり、どうでもいい人だつたら怒りません。日常生活の中でついつい忘れそうになる、人としての基本姿勢のようなものを改めて考えさせられることもあります。そういうものをこれから先の世代へきちんとつなげていくことが我々の役目なんじゃないかなと思ひます。

探訪!!

博多祇園山笠 追山コース

開催予定

5回目となる追山コース探訪を今年も6月に開催予定です。
当番法被に身を包んだ「おいしゃん」達と追山コースを回りませんか？昇手ならではの、迫力のある解説や山笠の歴史・裏話など、ここだけの話も飛び出しますよ。



参加ご案内は開催前に改めて新聞紙上等で募集をさせていただきます。幅広い参加をお待ちしております。

第8回はかたの町クリーン作戦実施

■平成17年11月20日

恒例となりました秋のクリーン作戦を今年も実施しました。秋晴れの下天気にも恵まれ約100名の参加者で、博多の町をきれいにすべく額に汗をにじませながら進めま



した。終了後のごみ袋も大量にありませんでしたが落ち葉のない冷泉公園がすっきりとした姿に変わっていました。

(中山 肇)

第9回

はかたの町 クリーン作戦

- 平成18年5月21日
- 8時30分集合
(11時30分解散予定)
- 集合場所:冷泉公園(南側の角)

NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

●お問合せは「NPO博多の風」事務局(担当・福田)

TEL: 090-1349-5982

FAX: 092-263-7188

<http://hakatanokaze.jp>

E-Mail npokaze@juno.ocn.ne.jp

NPO博多の風ホームページ

<http://hakatanokaze.jp>



活動報告はもちろん、幹事紹介なども更新していきます。

●ご意見・ご感想をお待ちしています

編集後記

博多の町・人と関わらせていただいで5年の月日が経とうとしていますが、その関わりの中で、本当に様々なことを学ばせて頂きました。そして、支えてもいただきました。今の自分が存在するのはそのお陰以外のなにもありません。第15回NPO博多の風フォーラムでの理事長による講演で、そのことを改めて強く感じました。博多の町・人のために自分にできること、自分がやるべきこと。これからは、これを考え行動に移していくことで、その関わりをもっとと深く濃いものにしていきたいと思います。

吉田秀典

NPO博多の風のあゆみ

平成	10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表:大庭宗一
	同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師:松本龍氏(衆議院議員)
	11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師:倉田 眞氏(毎日新聞編集局長)
	同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師:沢田幸二氏(九州朝日放送アナウンサー)
	12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師:坂口卓司氏(RKB毎日放送アナウンサー)
	同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 「山笠の風」出版 同出版記念パーティ開催
	同年5月	NPO(特定非営利活動法人)認証取得 理事長:大庭宗一
	同年6月	NPO博多の風として登記
	同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師:緒方邦博氏(プランニング秀巧社社長)
	同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
	13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師:後藤豊彦氏(福岡銀行相談役)
	同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ!楽文コンテスト」 実施(5/1~7/31)
	同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
	同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師:後藤久義氏(博多祇園山笠振興会会長) 永吉和幸氏(毎日新聞社福岡総局長) 緒方邦博氏(プランニング秀巧社社長) 「第1回 祭り童子集まれ!楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
	14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師:安達一成氏(毎日新聞社記者)
	同年4月	「NPO博多の風ホームページ」開設
	同年5月	第1回 クリーン作戦開催
	同年6月	「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」開催
	同年6月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ!楽文コンテスト」 実施(6/1~9/2)
	同年10月	「NPO博多の風広報誌:風人」発行
	同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師:高橋慶彦氏(元プロ野球広島東洋カープ)
	同年11月	第2回 クリーン作戦開催
	15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師:永守良孝氏(RKB毎日放送株式会社 取締役)
	同年5月	第3回 クリーン作戦開催
	同年6月	「第2回 探訪!!博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ!楽文コンテスト」 実施(6/1~9/2)
	同年11月	第11回NPO博多の風フォーラム開催 講師:奥田智子氏(九州朝日放送アナウンサー)
	同年11月	第4回 クリーン作戦開催
	16年4月	第12回NPO博多の風フォーラム開催 講師:ウー.C.リー氏(在福アメリカ領事館首席領事)
	同年5月	第5回 はかたの町クリーン作戦(雨天中止)
	同年6月	「第3回 探訪!!博多祇園山笠 追山コース」開催
	同年6月	作文コンクール 「第4回 祭り童子集まれ!楽文コンテスト」 実施(6/1~9/2)
	同年10月	第13回NPO博多の風フォーラム開催 講師:富永倫子(RKB毎日放送アナウンサー)
	同年11月	第6回 はかたの町クリーン作戦開催
平成	17年4月	第14回NPO博多の風フォーラム開催 講師:松田浩氏(アビスパ福岡監督)
	同年5月	第7回 はかたの町クリーン作戦開催
	同年6月	「第4回 探訪!!博多祇園山笠 追山コース」開催 「第5回 祭り童子集まれ!楽文コンテスト」 実施(6/1~9/1)
	同年10月	「第15回NPO博多の風フォーラム」開催 講師:大庭宗一(NPO博多の風理事長)
	同年11月	第8回 はかたの町クリーン作戦開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@juno.ocn.ne.jp

URL http://hakanokaze.jp

NPO博多の風事業概要

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動
「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集まれ!楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字:新井光守

